

買い物だけじゃない!
楽しい会話を通して
お互いに見守り!

暮らし豊かに！移動販売！

実施概要

●販売場所

八潮五丁目アパート
(品川区八潮5-8)

●販売業者

社会福祉法人品川総合福祉センター (パン工房プチレーブ)

●販売品目

パン

※平日週1回販売を実施

(品川区) 八潮五丁目アパート編



ここがすごい！！～自治会・事業者による取組～

ポイント1

お客様の声をすぐサービスに反映！

実店舗では1斤で売っている食パンを、**お客様の意見をすぐに反映して、一人暮らしのニーズに合わせて半斤で販売。毎月4種類が入れ替わる季節の商品は大人気！**（特に可愛いパンは親子連れに大人気！）商品のリクエストがあれば翌週に用意するなど**お客様目線のサービス**が大変喜ばれていました。

ポイント2

快適に楽しく買い物できる！

雨天時はアパート1階にある区の子育て支援施設「IKUMOやしお」の入口で**雨に濡れずに買い物ができる**ように、販売場所を軒下にする配慮がされていました。

テーブルに布を敷き、看板を設置しておしゃれなお店が完成。販売開始前から買い物を楽しみにしている方が集まっていました。

ポイント3

移動販売をきっかけに交流・見守りへ！

一人暮らしで外出する機会が少なくなる中でも、移動販売は**自宅から気軽な距離**で、買い物に行けば**誰かに会ったり、販売員さんと会話**ができます。移動販売をきっかけに、これまで話したことがない方とも**交流が生まれ、近況報告する仲**になることで、**お互いの見守り**にも繋がっています。



自治会長さんへインタビュー！

八潮五丁目アパート
40号棟～43号棟会長の皆さん

Q 移動販売を実施したいと思ったきっかけは何ですか？

A コンビニが近くになく、近隣のスーパーが工事で休業となり、**買い物で
きる場所がかなり遠くなつた**ため、品川区役所に相談をした。

Q 移動販売が便利だと感じるのはどんな時ですか？

A 距離が近く、車いすでも買い物に行きやすい。**決まった曜日・時間に来て
もらえるので覚えやすい。**

販売員さんへインタビュー！

社会福祉法人
品川総合福祉センター：Mさん

Q 利用者の皆さまからどのような声が寄せられていますか？

A 様々な種類があり「**毎週楽しみにしている**」。高齢者・一人暮らしにとって食パン1斤は多いため「**半斤で買えるのは嬉しい**」という声も。

Q 利用者の皆さまと、どのような関係性を築いていきたいですか？

A 法人の理念である「**地域とともに**」を中心に、**地域の方と共生**し、住みやすい環境を作りたい。

取材をしての気づきメモ

●品川区・自治会・販売業者のコンビネーション！

自治会長さんの提案で看板を設置したり、販売開始時間に「IKUMOやしお」の職員さんが館内の利用者へ声掛けを行ったりと皆さんで盛り上げていました。三者がうまく連携して移動販売が実施されていることがわかりました。

●イベント等を通じて地域を一つに！

日頃から自治会長同士が連絡を取り、4棟合同のお祭りや消防訓練の開催などの活発な活動がありました。**移動販売も地域交流にとって大切な機会の1つ**であることが伝わりました。

取材者

東京都住宅政策本部
(令和7年10月1日取材)

取材協力

社会福祉法人品川総合福祉センター
八潮五丁目40～43号棟自治会
品川区地域振興部地域活動課